

令和6年度地方における孤独・孤立対策推進事業交付金 事業実施報告書

【事業内容】

1. 地方版官民連携プラットフォームの構築

(官民連携プラットフォームについては令和6年5月に設置済み)

令和7年3月末時点で会員数は 134 団体。

2. 孤独・孤立対策関連事業の実施

1. 事業の概要【③④⑤共通】

孤独・孤立の問題について、多様な主体が分野や種別の枠を超えて参画する官民連携プラットフォームを中心に、関係機関相互の連携と協働を促進するとともに、人と人とのつながりが実感できる地域づくりや当事者が声を上げやすい環境整備に取り組む。

2. 事業実施の経緯・背景及び目的【③④⑤共通】

全国的な実情と同様に、本県においても、人口減少・少子高齢化の進展や雇用状況の変化、地域社会の変化等の中、8050 問題やダブルケアなど、世帯が抱える課題が複合化・複雑化し、既存の制度では対応が難しい事例が顕在化している。多様な主体が参画するプラットフォームを基盤とした関係者間の水平的連携を推進するとともに、問題が深刻化する前に課題に応じた適切な支援にアクセスできる体制を整備し、人と人がつながり合い、孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残さない地域づくりを総合的に推進することを目的とする。

3. 事業の成果及び工夫した点

③【関係者間の活動等に係る情報共有や相互啓発活動の活性化】

ポータルサイトを通してプラットフォーム会員主体のイベント情報等の積極的な発信と取組の共有を行った。幹事会の開催や、支援者向け研修会と一体的な 交流会の開催により、関係者同士の顔の見える体制を整備することができた。

④【住民への情報発信や普及啓発活動を行うポータルサイトが完成】

孤独・孤立支援ポータルサイトを開設。(https://kodoku-koritsu.gunma.jp/) 各種支援機関の情報やイベント情報を発信すると共に、事務局による会員団体取材記事を公開し、対象者が相談しやすく支援につながりやすいような工夫を行った。

⑤【人材確保・育成のための研修(孤独・孤立対策支援者向け研修会の開催)】

①日時 令和6年12月2日(月)14:00~16:30

②会場 群馬県市町村会館2階 大研修室

③対象 市町村行政職員、市町村社会福祉協議会職員、NPO等支援団体、民生委員・児童委員、民間企業・事業者、その他孤独・孤立に関心のある方等

④参加人数 91名

⑤内容

○基調講演「孤独・孤立問題の現状と対策の方向性」

講師 内閣府孤独・孤立対策推進参与 大西 連 氏

○実践報告

「不登校と向き合う親の会さくらんぼの実る頃」報告者 湯浅やよい 氏

「NPO法人共に暮らす」報告者 アジズ・アフメッド 氏

○交流会



4. 事業の課題と次年度に向けての展望【③④⑤共通】

孤独・孤立は人生のあらゆる場面において生じる課題であり、対象者が幅広く、年齢も様々である。また予防的観点も含めた裾野の広い取組が求められる。全ての対象者に対して必要な支援や資源の情報を提供するための工夫や、プラットフォームの拡大化に伴い、つながりや支援内容の充実もさらに検討していく必要がある。

令和7年度は今年度の取組に加え、つながりサポーター養成講座の開催を通じて、県民への孤独・孤立の問題に対する普及啓発、理解促進に努めると共に、より関係者間のつながりや連携体制の強化を図ることにより、それぞれの分野において孤独・孤立の観点をもって関係者の連携による支援が行われることを目指したい。